

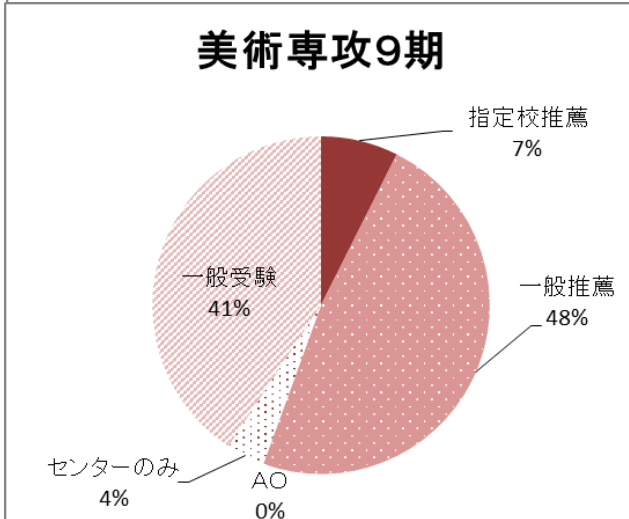
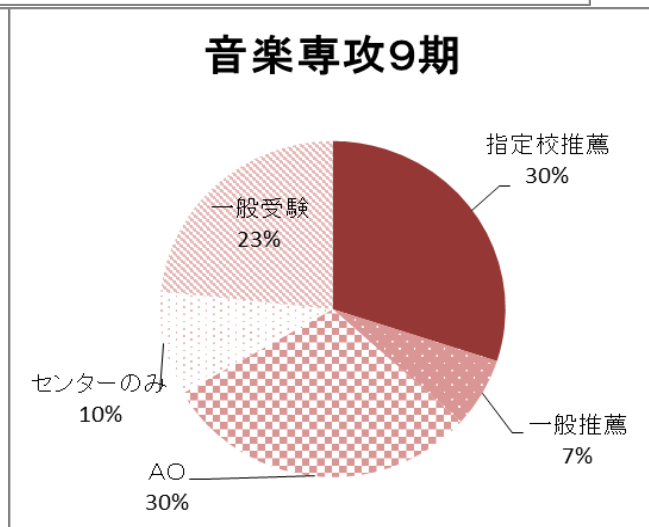
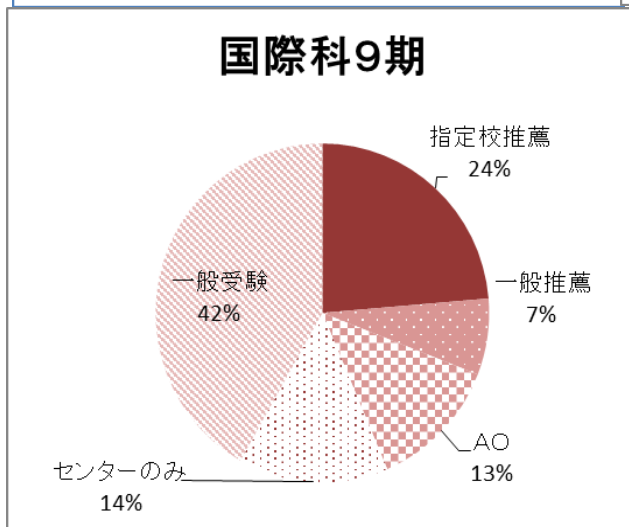
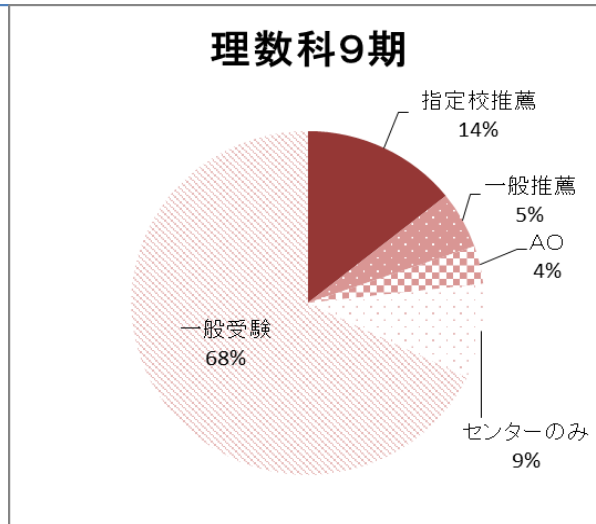
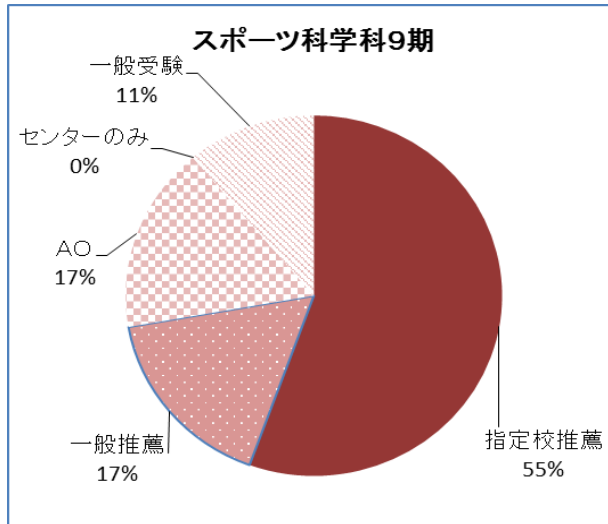


模擬試験の受験について (1)

弥栄高校は、進学重視の単位制集合型専門高校であり、毎年、約 90%以上の生徒が 4 年生大学へ進学していきます。殆どの生徒が 4 年制大学へ進学していくのですが、受験方法は各学科によって特色があります。

< 9期生の4年制大学進学における進学決定方法 >

大学へ入学した生徒がどのような受験タイプで入学したか。 (4年制大学のみ)



	スポ科	理数科	国際科	音楽専攻	美術専攻
指定校推薦	56%	14%	24%	30%	7%
一般推薦	17%	5%	7%	7%	48%
AO	17%	4%	13%	30%	0%
センターのみ	0%	9%	15%	10%	4%
一般受験	11%	68%	42%	23%	41%
4年制大学希望	93%	89%	95%	85%	93%
センター申し込み	13%	85%	70%	31%	85%
在籍人数	80	79	81	39	40

このグラフを見ても分かるように、スポ科の生徒は、約9割が、指定校推薦・一般推薦・A0入試で大学進学を決めているのに対し、理数科の77%、国際科の56%が、一般受験・センター利用で大学進学を決めています。指定校推薦・一般推薦・A0試験では、高校の評定平均で出願条件が決められているのが大半で、本番の入試では、面接、小論文、実技試験などが行われます。一方、一般入試では、センター試験、個別学力試験で合否が決まります。高校の定期試験は、授業での理解の定着を図るために非常に重要な試験です。しかし、大学入試の問題は、高校の定期試験と比べて、多くの点が異なります。

<高校の定期試験と大学入試の異なる点>

● 母集団が違う

高校の定期試験は、その学校の学年の人数（一般の高校では、高々360人程度）であるのに対して、大学入試（センター試験）では、最大約50万人という規模です。

● 試験科目や配点が違う

高校の定期試験は、基本的に実技の授業を除く、受けている全ての科目の試験であり、どの科目も100点満点で同じですが、大学入試では、自分の志望校の大学・学部・学科によって、出題科目・配点（重み）が異なってきます。

● 出題形式が違う

高校の定期試験は、授業での理解の定着を図る目的が大きいため、授業で扱った形式で出題されることが多いですが、大学入試では、センター試験、個別学力試験などで、それぞれ特有の形式で出題されます。

● 出題範囲・傾向が違う

高校の定期試験は、前回の試験範囲を含まない範囲で、新しく授業で扱った範囲で出題されることが多く、また作問者や教科によって出題傾向が異なってきますが、大学入試では、基本的に学習した全範囲から出題され、大学・学部・学科ごとに傾向があります。

このような点から、4年制大学へ進学をする受験生（特に一般入試で受験する人）は、大学入試に備えるためには、模擬試験を受験していくことが非常に重要です。また、模試を受験するには、とても多くのメリットがあります。

<模試を受けるメリット>

● 自分の位置がわかる

大学入試では、全国の受験生と戦わなければなりません。模擬試験を受験することで、全国での自分の位置が把握できます。

● 勉強の進み具合が確認できる

大学入試を突破するには、高校の授業の「予習」「復習」が最大の基本事項ですが、プラスαで、自分の勉強を進めていかなければなりません。模試を受験することで、自分の勉強の進み具合が確認できます。

● 弱点が発見できる

高校の定期試験は分野を絞って出題しますが、模擬試験では、学習した全範囲から出題されますので、既習分野における自分の弱点分野が発見できます。

● よい勉強計画が立てられる

模擬試験を定期的に受験し、模擬試験に向けての学習計画を立てることによって、3年間を見通して、自分の志望校に対する学習計画を立てることができます。

● 問題の傾向がわかる

模擬試験は、大学入試に則した形式で出題されるので、入試で出題される問題の傾向が分かります。

● 答案用紙の作り方を学べる

もちろん授業や高校の定期試験においても、答案用紙の作り方を指導していますが、模擬試験では、より大学入

試に則した形式で出題し、自分の答案と一緒に模範解答と詳細な解説が付いてきますので、より詳しく答案用紙の作り方を学べます。また分からない問題を教科担当者に質問に行くことで、より深く理解ができます。

● 問題を解く順番やペースなどがわかる

模擬試験では、大学入試に則した形式・出題範囲で出題し、時間も本番の入試と同じなので、問題を解く順番やペースなどがわかります。スポーツで練習試合をしないで公式試合に臨むなんてことが考えられないように、模試を受けずに入試に臨むことは、考えられません。

● 模試で試験慣れすることで、本番の入試で実力が出せるようになる

スポーツや芸術活動を一生懸命に頑張っている生徒は分かると思いますが、大会や演奏会では、とても緊張し、自分の力を十分に発揮できなかったことがあると思います。そのために大会に向けて、練習試合を多く組んだり、リハーサルを重ねていると思います。大学入試の本番でも、受験生には、非常にプレッシャーがかかり、緊張するものです。そのために、模試で試験慣れすることで、本番の入試で実力が出せるようにすることが重要になってきます。

では、ひと口に模擬試験と言っても、どのような模擬試験があり、どのような特徴があるのでしょうか？

< 大学受験の模試一覧 > ※ 大手予備校のみ

模擬試験の名称	主催	特徴	高校団体 申込割引
進研模試	ベネッセコーポレーション	現役の高校生が最も多く受験している模試。全国マーク模試、全国記述模試がある。正答率が、20%~90%の問題をまんべんなく出題。弥栄高校で受験が可能。弥栄高校は、この進研模試で学力分析を行うFINEシステムを導入しており、全生徒から学科費として、受験料・システム料金を徴収しています。	有り
駿台ベネッセ共催模試	ベネッセコーポレーション、 駿台予備校の共催	ベネッセコーポレーションと駿台予備校が共同で主催する母集団が日本一の模試。弥栄高校で受験が可能。FINEシステムに対応している。3年次10月に行われる記述模試では、センター試験本番の点数とドッキング判定ができる。高校の定期試験的な内容の問題も多い。受験会場は、個人申込の場合は、駿台予備校で、弥栄高校に申し込んだ場合は、弥栄高校で実施になります。	有り
駿台模試	駿台予備校	駿台全国模試・駿台全国マーク模試・駿台全国判定模試・大学入試センター試験プレテストがある。東大・京大・東工大・一橋大などの超難関大学受験者向き。東大入試実戦模試などの、各志望大学に対応する、実戦模試と呼ばれる模擬試験がある。駿台には、東大・京大をはじめとする国公立の難関大を目指す人の予備校というブランドイメージがあり、模試にもその傾向が反映されている。「駿台全国模試」は、ハイレベルな内容で受験者層も上位レベルが多い。	有り
全統模試	河合塾	全統マーク模試・全統記述模試・全統私大模試・全統医進模試・全統論文模試・全統センター試験プレテストがある。正答率が、37.5%~42.5%の問題を出題。国立難関10大学・早慶などの難関大学受験者向き。名大入試オープンなどの、各志望大学に対応する、オープンと呼ばれる模擬試験がある。「解答・解説」冊子は、非常に丁寧に解説しており、参考書的な編集になっている。	有り
河合塾・Z会共催 プレステージ	河合塾、Z会の共催	難関大入試／記述・論述式問題対策。早大即応模試などの、各志望大学に対応する、即応模試と呼ばれる模擬試験がある。東大・京大即応オープンなどの、各志望大学に対応する、即応オープンと呼ばれる模試がある。	有り
代ゼミ模試	代々木ゼミナール	総合力判定模試・スタンダードレベル模試・トップレベル模試がある。東大プレなどの、各志望大学に対応する、大学別入試プレと呼ばれる模擬試験がある。	無し
東進模試	東進ハイスクール	センター試験本番レベル模試・センター試験高校生レベル模試・センター試験同日体験受験・難関大本番レベル記述模試・東大本番レベル模試・京大本番レベル模試・大学合格力判定テストがある。	無し

上の表は大手予備校が主催する模試の名称と特徴です。弥栄高校は、年間を通して進研模試を校内実施しています。

各学年で受験することになっている進研模試の回数は、次の通りです。

< 校内での進研模試の回数 >

年次	4月	7月	10月	1月	回数
1年次	スタディサポート	進研記述模試	スタディサポート	進研記述模試	4回
2年次	スタディサポート	進研記述模試	進研記述模試	進研記述模試	4回
3年次	進研記述模試	進研記述模試	6・9・10・11月は希望者が校内受験		2回 + α

校内で実施している進研模試は、既に皆さんは、受験料を支払っており、必ず受験することになっています。また、その成績データは蓄積され、あらゆる角度から分析されて、皆さんにフィードバックされます。前述の表から、弥栄高校は学科によって進路決定状況が異なるために、3年次では、必ず受験する校内模試は2回しか行われていません。これでは、一般受験をする、特に理数科・国際科の生徒は、受験回数が少なくて、入試には太刀打ちできません。そこで、3年次の希望者に対して、校内で以下の進研模試を受験することができます。

<3年次・希望者が校内受験できる進研模試・2017年度版>

受付開始月	実施日	模試名	料金	備考
4月	6/3(土)	進研マーク模試	3,190円	希望者・校内受験
7月	9/23(土)	ベネッセ・駿台マーク模試	3,190円	
8月	10/14(土)	ベネッセ・駿台記述模試	3,190円	
9月	11/4(土)	ベネッセ・駿台マーク模試	3,590円	

弥栄高校は、FINE システムを導入しているのです、この進研模試を受験すると、成績データが蓄積され、きめ細かな進学指導が受けられることとなります。また、弥栄高校で校内実施できますので、料金も安く受験できます。

では、校内で実施される進研模試の他に、他の予備校が主催する模擬試験にはどのような模試があるのでしょうか？

<大手予備校主催の3年次対象模試一覧・2017年度版>

(1・2年次生対象の模試は別表を参照。)

受付開始月	実施日	模試名	出題形式	会場	主催予備校	個人申込 受験料	高校団体 申込受験料	一般受験 重要度	難関大 受験者	超難関大 受験者
4月	4/21(金)	進研記述模試	記述	弥栄高校	ベネッセ	—	3,190円	全員	全員	全員
	4/30(日)	第1回 全統マーク模試	マーク	予備校	河合塾	5,250円	4,220円		○	
	4/30(日)	第1回 総合学力判定模試	記述	予備校	代々木ゼミナール	5,200円	—			
	5/7(日)	河合塾・Z会共催プレステージ	記述・論述	予備校	河合塾	5,360円	4,320円			
	5/7(日)	第1回 駿台全国判定模試	記述	予備校	駿台予備校	5,000円	4,000円			
	5/14(日)	第1回 全統記述模試	記述・論述	予備校	河合塾	5,360円	4,320円		○	
5月	5/28(日)	第1回 駿台全国模試(ハイレベル)	記述	予備校	駿台予備校	5,000円	4,300円			◎
6月	6/3(土)	進研マーク模試	マーク	弥栄高校	ベネッセ	—	3,190円	◎	◎	
	7/4(火)	進研記述模試	記述	弥栄高校	ベネッセ	—	3,190円	全員	全員	全員
	7/23(日)	駿台全国マーク模試	マーク	予備校	駿台予備校	4,700円	4,000円			◎
7月	7/30(日)	第2回 全統マーク模試	マーク	予備校	河合塾	5,250円	4,220円		○	
	8/20(日)	第2回 総合学力判定模試	記述	予備校	代々木ゼミナール	5,200円	—			
	8/27(日)	第2回 全統記述模試	記述・論述	予備校	河合塾	5,360円	4,320円		○	
8月	9/3(日)	第2回 駿台全国判定模試	記述	予備校	駿台予備校	5,000円	4,000円			
	9/23(土)	第1回 駿台・ベネッセマーク模試	マーク	弥栄高校	駿台・ベネッセ	5,000円	3,590円	◎	◎	◎
	9/24(日)	第2回 駿台全国模試(ハイレベル)	記述	予備校	駿台予備校	5,000円	4,300円			◎
9月	10/8(日)	全統論文模試	論述	予備校	河合塾	6,460円	5,420円			
	10/14(土)	第2回 駿台・ベネッセ記述模試	記述	弥栄高校	駿台・ベネッセ	5,100円	3,590円	◎	◎	◎
	10/15(日)	第3回 全統記述模試	記述・論述	予備校	河合塾	5,360円	4,320円		○	
	10/22(日)	第3回 全統マーク模試	マーク	予備校	河合塾	5,250円	4,220円		○	
10月	11/3(祝・木)	全統医進模試	記述・論述	予備校	河合塾	5,960円	4,730円			
	11/4(土)	第3回 駿台・ベネッセマーク模試	マーク	弥栄高校	駿台・ベネッセ	5,000円	3,590円	◎	◎	◎
	11/26(日)	全統センター試験プレテスト	マーク	予備校	河合塾	5,140円	3,790円	◎	◎	
11月	12/3(日)	第3回 駿台全国模試(ハイレベル)	記述	予備校	駿台予備校	5,000円	4,300円			◎
	12/17(日)	大学入試センター試験プレテスト	マーク	予備校	駿台予備校	4,700円	3,600円			◎

※駿台・ベネッセ模試の会場は、個人申込の場合は、駿台予備校で、弥栄高校に申し込んだ場合は、弥栄高校で実施になります。

このように年間を通して、各予備校が多くの模試を実施しています。「マーク模試」は、「センター試験」と同じ形式の模試であり、「記述・論述模試」は、「個別学力試験」に対応した模試です。またこれらの模試の他に、各難関大学にターゲットを絞った、「大学冠模試」というものがあります。大学入試問題は、各大学によって、出題傾向・科目・設問形式・難易度・時間・配点などが異なります。また、難関大学になればなるほど、個別学力試験で出題される問題の難易度も高くなってきます。この各難関大学の過去の入試問題を詳細に分析して、その大学の入試問題に準じた形式で出題されるのが「大学冠模試」です。一般の記述模試と比べて、「大学冠模試」は、出題される問題の難易度が高く、受験する人もハイレベルな学力の集団です。この「大学冠模試」を受験することによって、自分の志望大学の出題傾向を知り、ハイレベルな学力の受験生の集団の中での自分の位置を知ることができるので、難関大学進学希望者にとっては、重要な模試になります。

【出典】◆蛍雪時代 ◆ベネッセ、駿台予備校、代々木ゼミナール、河合塾の各公式 Web サイト。



紙面の都合上、続きは、進路通信(第3号)に掲載します。
進路通信は、大事な進路情報なので、大切に保管しましょう!